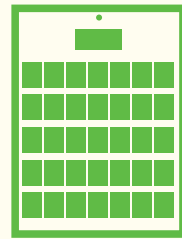


小林組とは…?



69年

1950年の創業以来、阿賀野市で総合建設業を営んできました。



年間休日 120日

2019年4月から完全週休2日制を導入しました。

ハッピーパートナー企業

仕事と家庭生活が両立できるよう職場環境を整え、女性登用に積極的に取り組む企業として、2013年、新潟県により登録されました。

水草退治

新潟県初「水面藻刈船」導入。地元の瓢湖を始め、潟や沼、河川の水草やアシ、ヨシを除去し、環境整備を担います。



転勤なし

勤務は本社・阿賀野市。現場も阿賀野市エリアが中心です。

空き家巡回管理サービス



2016年に施行された空き家対策特別措置法に即応。建設業のノウハウを活かした、空き家の巡回管理サービスを開始しました。

主な取引先は、国、新潟県、阿賀野市、官公庁など。

公共事業がメインです。

総資格保有数 45



測量士、一級・二級土木施工管理技士、一級・二級建築施工管理技士、一級・二級建築士など。資格取得のため費用は会社が負担し、全面的に応援します。

受賞&表彰

阿賀野市優秀技術者表彰を2006年から11年間連続受賞、さらに、国土交通省、新潟県の優良工事・優良技術者賞も受賞。

詳しくはHPでチェック!

検索

<http://kobayashigumi.jp/>

『想いをカタチに』笑顔創造企業
株式会社 小林組

本社／新潟県阿賀野市曾郷302 TEL:0250-67-2341
豊栄営業所／新潟県新潟市北区白新町3-14-8
新発田営業所／新潟県新発田市豊町1-9-17
<http://kobayashigumi.jp/>

想いをカタチに

新潟の社会基盤を造る。
人々の暮らしを支える。



株式会社 小林組

地域の安全安心、発展に貢献

小林組は、1950年の創業以来、阿賀野市を拠点として、道路や河川工事の施工管理、また、学校や公共施設の設計・施工管理など、地域に根ざした公共工事に取り組んできました。公共工事では、まず利用者である住民のため、そして発注者の行政、受注者の私たちの三者にとって最適な工事を目指し、技術の向上、安全の確保、環境への配慮に注力しています。合わせて災害対策や除雪も行っており、地域の安全を支える存在でありたいと思っています。

今、世界的に環境に配慮して発展させていく社会構築に向けて、構造物の維持管理、補修が広く求められています。新潟県も同様であり、私たちは培った技術や経験を、耐震化や省エネ化、環境に配慮した補修や建築に活かして、建築事業の進展を図っています。また、他に先駆けて水面藻刈船を導入し環境整備事業を、時代の要請に応じて空家巡回サービスなどの新規事業にも着手。これからも進取の精神で歩んでいきます。

小林組では多くの技術者が活躍しています。土木や建築の専門知識や技術を活かして成長し、また、理系出身以外でもモノづくりに興味があれば、入社後に学び、資格を取得して技術者の道を歩んでいけます。好奇心が旺盛、多くの人とコミュニケーションが取れる、自ら学んで行動できる——そういう人はここで力を発揮できるはずですよ。



先輩社員の声 ②



2016年入社
工務部工事課

明間拓也

「愛されるランドスケープを造り
故郷を盛り上げ、地域貢献を果たしたい」

美しい風景を造る

五頭山から宝珠山へ向かう林道の開設は、現場監督の主任に任されたこともあり、やりがいを感じた仕事の一つです。工事の場所は林の中の傾斜地で、搬入路もないため、想定外のことも少なくありませんでした。が、この道によって地元の人々の利便性や安全性が向上するのだという使命感を持ち、やり遂げることができました。何よりも、完成後、緑の中を上っていく一本の道を見たときの「美しいなあ」という感動は忘れられません。また、大勢の人の目に触れ、長く残っていくのも、土木の仕事の大きな魅力です。



資格を取得し次のステップへ

大学では環境デザイン学科に在籍し、建物の外構や公園の設計を学んできました。仕事に必要な専門知識や資格は入社後に身に付けました。現場での実践と本の中の知識がリンクするので理解しやすく、また、周囲は有資格者ばかりなのでフォローは十分、効率よく勉強できます。講習会や受験のための費用は会社が負担してくれるので助かります。今後は一級土木施工管理技士資格を取得し、より大規模工事を担当し、地域づくりに関わっていききたいと思います。



先輩社員の声 ①



2012年入社
工務部建築課

小林大介

「建設現場で大勢の業者を動かす
施工管理はやりがいの大きな仕事です」

仕事の成果が目に見える

大学で建築を専攻し、3年間、首都圏の建設業で施工管理を経験した後にUターン。今は、設計から積算や申請、施工管理まで一貫して担当しています。大型案件では、阿賀野市の工場新築工事が記憶に残っています。



特殊な加工装置やラインなどそれまで経験のないものを含む設計で、施工主との打ち合わせや同タイプの工場の視察を重ね、社内の上司や先輩にアドバイスしてもらい、無事に完工。ゼロから設計したので達成感は一歩おです。建築は、自分の仕事が目に見えるのでやりがいがあります。

パズルのように工程を構築

建設の施工管理は、いわば現場での指揮者。様々な職種の下請け業者が、効率よく安全に仕事を進めるための工程管理を行います。雨や雪などの気象条件や急な変更などで、予定が狂うこともしばしばです。パズルを組み立てるように、工程を再構築するのは大変な反面、うまくいったときの感動は格別です。私自身、失敗や悩みは「次のための一歩だ」とポジティブに捉える性格で、社内も温かく応援してくれるので、いつも前向きに仕事に向かえます。今後は、建築に関わる後輩を育てていきたいと思っています。



先輩社員の声 ③



2017年入社
重機オペレーター

中村歩

「相手は大自然。工事の前後の
見違えるほどの変化が励みになります」

大自然をガッツリ掘っていきたい

入社後に中型パワーショベル運転免許を取得し、私は土木工事で重機オペレーターを務めています。最近では、阿賀野川水系の駒林川の護岸工事を担当しました。掘削して川幅を広げ、護岸用ブロックを配置する、河川環境に配慮した工事内容でした。難しいのは、アームの長いショベルの操作です。掘削地点が見えにくく、バケットが土砂に触れる感覚が伝わりにくいため、合図者の指示と経験や感覚を駆使して、注意深く行います。将来的には、複数の免許を取得し、0.7クラスの大型バックホーで、大自然を相手に大型工事をしたいです。



完全週休2日制で趣味も満喫

入社前には、建設業だから職人気質の人が多く、堅い会社なのだろうと思っていましたが、面接からフレンドリーな雰囲気で驚きました。年齢や役職を越えて話やすく聞きやすい、風通しのいい会社です。悩んでいると「なんで聞いてこないんだ」と声を掛けられます。人間的にも技術的にもすごいなと思う先輩ばかりです。完全週休2日制で残業も少なく、趣味の野球の練習や試合にもしっかり参加しています。リフレッシュできるから、次の仕事への意欲がわいてきます。

